

宮城県知事 村井 嘉浩 様

(仮称) 六角牧場風力発電事業計画に  
関する要望書

令和4年12月6日

大 崎 市

# 要 望 書

## 趣旨

本市を事業区域として計画されている（仮称）六角牧場風力発電事業計画については、下記の理由により現行の事業計画に反対いたします。

カーボンニュートラル社会の実現に向けて、地域に賦存する再生可能エネルギーを最大限に活かしていくことは、必要なことと考えておりますが、それと引き換えに市民に様々な恵みを与えてくれる豊かな自然環境や景観など、地域にとって大切に重要な資源を失うことは、非常に不本意なことです。

県におきましても、現行の事業計画に反対いただきますよう要望いたします。

## 記

### 1. 地域住民等の理解が得られていないこと

本市における再生可能エネルギー等の利活用については、自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例の基本理念である、自然環境の保全と地域住民等の意向を踏まえた、生活環境との調和の取れた事業計画であることが前提です。

当該事業計画については、地元の鳴子温泉郷観光協会や川渡地区振興会等から計画に反対する意見書等が提出されており、本市としては地域住民等の理解が得られていないものと認識しており、このまま計画が進められることは遺憾です。

また、令和3年5月27日付け経済産業大臣への知事意見にある、

関係者の理解を得ながら事業を進めること、渡り鳥に関しての地域の関係者との共同調査の提案、景観に関する鳴子温泉郷の事業者や来訪者への説明など、十分な対応が取られておりません。

## 2. 本市の重要施策へ影響があること

### (1) 渡り鳥に関連した施策

本市が抱える、「化女沼」及び「蕪栗沼・周辺水田」の2つのラムサール条約湿地と世界農業遺産に認定された大崎耕土は、自然豊かな渡り鳥に選ばれた地域として国際的に認められており、本市の飛翔を象徴する鳥として「マガン」を市の鳥に選定しています。

本市では、それら世界に認められた豊かな自然環境の生物多様性の保全と利活用に関する施策を市民協働により推進してまいりました。

現行の事業計画は、渡り鳥の飛行ルートとなっていることが事業者と関係団体の調査でも示されており、市の施策への影響が懸念されます。

### (2) 観光産業に関連した施策

鳴子温泉地域は、豊かな自然環境と豊富な泉質を誇る国民保養温泉地として、県内外の皆様に認識されており、その自然の恵みを享受した観光産業が地域経済の中心となっております。近年の新型コロナウイルス感染症により大きな打撃を受けた観光産業の復調に向け、官民連携で取り組んでいるところです。

現行の事業計画は、鳴子温泉郷観光協会も指摘しているように、自然環境や観光地、国民保養温泉地としての価値への影響が懸念されます。

### (3) 景観に関係した施策

鳴子温泉地域は、禿岳や瀉沼、鳴子峡、栗駒国定公園など豊かな自然資源が広がる自然景観エリアであり、長い年月を経て形成された自然景観は維持・保全しながら、本市の魅力を高めていくことが重要と考えていることから、地域住民等と協力し、その保全等に努めてまいりました。

現行の事業計画は、周囲の自然景観や山並みへの眺望など景観の新たな阻害要因となることが懸念されます。

### (4) 防災対策に関する施策

近年、想定を超える豪雨等により、本市においても度重なる甚大な被害が発生し、本年7月の大雨においては、これまで被害が少なかった山間地域における土砂崩れや林道の洗堀等が発生した状況にあります。

その対策の一つとして、森林の有する多面的機能により、災害を未然に防止する施策を推進しているところです。

現行の事業計画では、建設工事に伴う切土・盛土工事や作業道の拡幅による森林伐採、地形の改変が見込まれ、災害の誘発が懸念されます。

令和4年12月6日

大崎市長 伊藤 康志